

講師略歴

牟田 博光

東京工業大学
大学院社会理工学研究科 教授

- 最終学歴：東京大学大学院教育学研究科教育学博士課程中退(1974)、東京工業大学学術博士(1990)
- 専門分野：ODA 評価、教育開発、教育計画、教育工学
- 研究テーマ：ODA 評価手法の開発、発展途上国の人材育成
- 主要業績（著書、論文等）：
「国際教育協力事業の評価－課題と展望－」澤村編著『教育開発国際協力研究の展開－EFA（万人のための教育）達成に向けて実践と課題』明石書房(2008)
「援助評価」後藤・大野・渡辺編『日本の国際開発協力』日本評論社(2005)
- 委員会活動等（現職のみ）：
国際開発学会理事（2002～）
財務省：独立行政法人評価委員会委員長（2011～）
日本学術会議連携会員（2006～）

津富 宏

静岡県立大学
国際関係学部教授

- 最終学歴：ウイスコンシン州立大学マディソン校社会学部修士課程
- 専門分野：犯罪学、刑事政策、評価研究
- 研究テーマ：犯罪者・非行少年の処遇効果研究、犯罪原因論、青少年の社会適応・就業の支援、科学的エビデンスの普及・利用体制の構築
- 主要業績（著書、論文等）：
「犯罪者処遇は有効である」『犯罪と非行』110号（1996）
「犯罪者処遇の評価研究（一）、（二）、（三）」『刑政』1283号、1284号、1285号（1999）
「EBP（エビデンス・ベースト・プラクティス）への道」『犯罪と非行』124（2000）
「厳罰化の時代に」『国際関係・比較文化研究』1巻1号(2002)
「メタ・アナリシスの技法」立田慶裕編『教育研究ハンドブック』世界思想社（2005）
イアン・K・クロンビー『医療専門職のための研究論文の読み方 批判的吟味がわかるポケットガイド』（翻訳）金剛出版（2007）
「少年非行対策におけるエビデンスの活用」小林寿一編著『少年非行の行動科学』北大路書房（2008）
D・C・ロウ『犯罪の生物学』（翻訳）北大路書房（2009）
日本犯罪学会（編）津富宏（責任編集）『犯罪者の立ち直りと犯罪者処遇のパラダイムシフト』現代人文社（2009）
D. J. トーガーソン、J. C. J. トーガーソン『ランダム化比較試験（RCT）の設計』（監訳）日本評論社（2010）
- 委員会活動等：
ストックホルム犯罪学賞審査員
キャンベル共同計画刑事司法グループ委員
キャンベル共同計画日本代表
日本犯罪学会会理事

山谷 清志

同志社大学
政策学部・総合政策科学
研究科(大学院) 教授

- 最終学歴：中央大学大学院法学研究科政治学専攻博士後期課程（博士・政治学）
- 専門分野：行政学、政策学、政治学
- 研究テーマ：政策評価、行政責任、比較政策論
- 主要業績（著書、論文等）：
『公共部門の評価と管理』、山谷清志編著、晃洋書房（2010）
『政策評価の理論とその展開－政府のアカウンタビリティ』晃洋書房（1997）
『政策評価の実践とその課題－アカウンタビリティのジレンマ』萌書房（2006）
- 委員会活動（現職のみ）：
内閣府本府政策評価有識者懇談会座長（2006～）
防衛省政策評価に関する有識者会議委員（2006～）
総務省政策評価・独立行政法人評価委員会、独立行政法人評価分科会臨時委員(2004～)
男女共同参画会議専門委員(2004～)
愛知県行政評価委員会委員(2004～)
大阪府地方独立行政法人評価委員会委員（2004～）

源 由理子

明治大学公共政策大学院
ガバナンス研究科
教授

- 最終学歴：東京工業大学社会理工学研究科人間行動システム専攻博士後期課程（博士・学術）
- 専門分野：評価研究、社会開発論
- 研究テーマ：参加型評価、評価と価値形成、コミュニティ開発とガバナンス
- 主要業績（著書、論文等）：
『国際協力プロジェクト評価』（共著）国際開発ジャーナル社（2003）
「エンパワメント評価の特徴と適用の可能性」『日本評価研究』3巻2号（2003）
「ノンフォーマル教育援助における参加型評価手法の活用－利害関係者が評価過程に評価主体として関わることの意義－」『日本評価研究』7巻1号（2007）
『評価論を学ぶ人のために』（共著）世界思想社（2007）
『開発援助の評価とその課題』（共著）国際開発高等教育機構（2008）、
「地域社会における行政と住民の協働による評価－評価プロセスの活用（Process Use）の観点から－」『日本評価研究』11巻1号（2011）
- 委員会活動等（現職のみ）
日本評価学会理事（2006～）

小野 達也

鳥取大学 地域学部 教授

- 最終学歴：オックスフォード大大学院修士課程（応用統計学）修了
- 専門分野：行政評価、政策科学、応用統計学
- 研究テーマ：行政評価・政策評価の理論に関する研究、行政評価・政策評価における統計的手法の研究、自治体の行政改革手法に関する研究
- 主要業績（著書、論文等）：
『行政評価』（共著）東洋経済新報社（1999）
『行政評価ハンドブック』（共著）東洋経済新報社（2001）
『行政評価と統計』（共著）日本統計協会（2004）
『評価論を学ぶ人のために』（分担執筆）世界思想社（2007）
『共生社会の理念と実際』（分担執筆）東信堂（2008）
『地域政策入門』（編著）ミネルヴァ書房（2008）
- 委員会活動等（現職の主なもの）：
日本評価学会理事（2004～）
総務省政策評価・独立行政法人評価委員会－政策評価分科会臨時委員（2011～）
国立国会図書館有識者会議委員（2009～）
国土交通省殿ダム事業費等監理委員会委員（2008～）
鳥取県公共事業評価委員会会長・会長代理（2006～）
鳥取市行財政改革推進市民委員会委員（2004～）
倉吉市地域産業振興戦略会議座長（2009～）
マニフェスト推進ネットワーク中国世話人（2005～）

- 国土交通省千代川の今後を考える学識懇談会委員（2008～）

佐々木 亮

立教大学大学院兼任講師／
（株）国際開発センター(IDCJ)
評価事業部 主任研究員

- 最終学歴：ウェスタンミシガン大学評価研究所博士
- 専門分野：評価研究
- 研究テーマ：評価に独特の論理、評価者倫理のあり方、インパクト評価手法とその妥当性
- 主要業績：
「エビデンスに基づく開発援助評価」『日本評価学会』10巻2号（2010）
『評価論理：評価学の基礎』（2010）
『「政策評価」の理論と技法』（共著）多賀出版（2000, 2004）
『政策評価トレーニングブック』多賀出版（2003）
『戦略策定の理論と技法：公共・非営利組織の戦略マネジメントのために』（共著）多賀出版（2002）
『大学の戦略的マネジメント』（共著）多賀出版（2006）
- 委員会活動（現職のみ）：
日本評価学会社会実験分科会座長（2002～）
日本評価学会評価者倫理・スタンダード策定分科会事務局（2009～）

シーク 美実

（株）国際開発センター(IDCJ) 評価事業部 主任研究員

- 最終学歴：ニューヨーク大学行政学部都市計画学科修士課程終了
- 主要業績：
『学校の第三者評価の評価手法等に関する調査研究（テーマ E:学校からの情報提供の充実等に関する調査研究）』文部科学省委託（2007年）
『過去の ODA 評価案件のレビュー』外務省委託（2009年）
「パフォーマンス・メジャーメント-最近の傾向と今後の展望『日本評価研究』第1巻 第2号（共著）（2001年）
- 委員会活動
練馬区行政評価委員会副委員長（2008年）

専門分野講師陣

大島 巖

日本社会事業大学理事、同大学院社会福祉学研究科長・教授

齊藤 貴浩

大阪大学 大学教育実践センター 准教授

渋谷 和久

国土交通省 総合政策局 総務課長
（元国土交通省政策評価企画官）

塚本 壽雄

早稲田大学 大隈記念大学院 公共経営研究科 教授

長尾 眞文

国際基督教大学 教養学部 客員教授

西出 順郎

岩手県立大学 総合政策学部 准教授

三好 皓一

立命館アジア太平洋大学大学院 アジア太平洋研究科教授